

授業づくりをこうマネジメントする(第8回)

1 負のサイクルをプラス向きに変える

関西外国語大学 中嶋洋一

中嶋 今回と次回は、大阪府寝屋川市立友呂岐中学校の吉田千賀子先生をお招きし、荒れを克服する生徒指導のポイントに迫ります。吉田先生は、異動された学校の体育でダンス指導を展開され、みるみる生徒たちを変えられたということですが、何か秘訣があるのでしょうか。

吉田 秘訣というものはありません(笑)。多くの子どもたちは、やる前から諦めたり、努力することを面倒がったりします。私は、彼らにやらないのとできないのは違うと言います。やらなければ、できるように



はなりませんからね。大切なのは最初の一步です。それを決心させるには具体的なイメージをもたせることだと思います。次の写真を見て下さい。



中嶋 大阪城ホールですね。大阪府の大会に出られたんですね。

吉田 そうです。大阪府の大会で審査員特別賞をいただいたときのものです。このように、大阪城ホールで踊ってみたいという憧れをもたせると、どの子も熱心に取り組みます。そのため、私は体育大会を控えた2学期の始業式には体育館に次のような言葉を書いて貼るんです。

踊った分だけ輝ける
踊った分だけ顔が上がる
踊った分だけ自分が好きになる
踊った分だけダンスが好きになる
踊った分だけ成長する
踊った分だけ感動できる
共に感動できる仲間がいることはとても幸せ…

中嶋 なるほど。最後まで頑張れば「感動」という風景を仲間と一緒に味わえるということ伝えるのですね。

吉田 次の写真は寝屋川市の「元氣夢祭り」のときのものです。女子全員が前後180度開脚できたときは、会場全体が一斉にどよめき、同時に拍手喝采が起きました。



努力が必要だとわかる演技をすることで、見ている人がそれを評価してくれます。努力は必ず報われること。そして、人前でやることが自信になること。それを子どもたちに教えてやりたいんです。

(裏へ)

定価 860円

本体 819円

Printed in Japan

雑誌05273-11



発行所=明治図書出版株式会社
http://www.meijitoshok.co.jp
東京都北区滝野川7-46-1
郵便番号114-0023 振替00160-5-151318

4910052731134
00819